

2023年12月吉日

関係者各位

日本 ALS 協会長野県支部
支部長 小林さゆり

「呼吸リハビリテーション研修会」のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年、ALSの呼吸症状に対して、痰の咯出や肺・胸郭を拡張し呼吸を良い状態に保つために「排痰補助装置」や「LICトレーナー[®]」といった機器が利用できるようになってきています。しかしこれらの機器を使用した呼吸リハビリテーション（以下「呼吸リハビリ」）を提供できる医療従事者はまだ少なく、長野県内では十分普及しているとは言い難い状況にあります。

そこでこの度、日本 ALS 協会長野県支部では、県内における呼吸リハビリの普及を目的に、ALS 当事者への診療等で直接関係されている医療・介護・福祉従事者の方々を対象にした研修会を下記の通り企画いたしました。講師には、呼吸リハビリの第一人者である国立精神・神経医療研究センターの寄本恵輔氏と有明陽佑氏をお招きし、神経筋疾患に対する最新の呼吸リハビリについて講義と実技を予定しております。

年度末のお忙しい中大変恐縮ではございますが、ALS 当事者の方々へより良い呼吸リハビリを普及させるため、関係者皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

研修会名：「呼吸リハビリテーション研修会」

日 時：2024年3月31日（日） 10時00分～15時00分（お昼休憩1時間）

場 所：なんなんひろば（松本市芳野4番地1）

講 師：国立精神・神経医療研究センター 寄本 恵輔 氏（理学療法士）
有明 陽佑 氏（理学療法士）

対 象：医師、看護師、リハ職種、介護福祉士、ヘルパー、ALS 当事者の支援に直接関わる方

定 員：30名

参加費：3,000円（ALS 協会長野県支部会員は1,000円）

申し込み：QRコードまたは下記メールアドレスまで氏名・所属・職種・会員/非会員をご記載ください。 「ai.45154@ai-hosp.or.jp」（相澤病院 リハセラピスト部門 鶴飼正二）

※当日お弁当を希望される方は希望の有無もご記載ください。昼食代（700円程度）は当日受付にてお支払いいただきます。

申し込み期限：2024年2月29日（木）



【問い合わせ先】

日本 ALS 協会長野県支部 事務局 原山あかね

TEL : 026-263-6335（居宅介護支援事業所 手と手）

FAX : 026-243-8820

E-mail : akane_harayama@tetote7107.org

「排痰補助装置」、「LIC トレーナー®」とは？

- ▶ ALS が進行すると「呼吸障害」が出現し、肺活量の低下や胸郭・肺の低下により、無気肺や肺炎のリスクが高くなるといわれています。
- ▶ 近年では、こういった症状に対してより良い呼吸状態を保つために早期から適切な呼吸リハビリを実施することが推奨され、そのための機器として排痰補助装置や LIC トレーナーといった機器の開発が進んでいます。しかし、ALS は希少疾患であるためこれらの機器を用いた呼吸リハビリの経験を有する医療従事者はまだ少なく、県内では普及していない現状にあります。
- ▶ 日本 ALS 協会長野県支部では、県内の ALS 当事者の皆様に適切な呼吸リハビリが提供されるようになることを目的に、ALS 当事者の方に直接関わられている医師、看護師、リハセラピスト、ヘルパーの方々にその必要性や実際の使用方法を理解していただけるよう研修会を企画いたしました。

排痰介助・咳介助のための機械「排痰補助装置」

【メリット】

機械を用いて肺に空気を送り込み、急速に吸引することで気管支や肺にある痰などの分泌物を排出することができる。誤嚥性肺炎予防、吸引回数の減少、気管切開への移行を遅らせる。

【デメリット（注意点）】

肺気腫や気胸など肺実質に問題がある方や、心不全や自律神経障害を有する方は適応にならないことがある。現状では人工呼吸器を使用している方しか保険適応にならない。



胸郭柔軟性・肺容量を維持・改善するための機材「LIC トレーナー®」

【メリット】

バックバルブマスクを用いて肺に空気を送り込み、その状態を保持することで排痰補助装置よりも肺・胸郭の拡張効果が得られる。肺活量や咳嗽力（咳の力）の維持・改善効果により、誤嚥性肺炎予防が期待できる。

【デメリット（注意点）】

肺気腫や気胸など肺実質に問題がある方や、心不全や自律神経障害を有する方は適応にならないことがある。操作に練習が必要。

